



先生の背を見て 学んだコピペ

理化学研究所の小保方さんがiPS細胞より簡単に万能細胞を作れると一月末に発表。世の中には限りなく新しい発見があるのだと思つた。が、再現できないとのクレームがあつた。共同研究者の若山氏が送つた細胞を使つて出来たと云われた万能細胞の遺伝子を調べたら別のマウスのものだつたとか・・・

コピペの世界
大学の先生方は国などから出た研究費を使つた結果の報告書作成、次の予算申請書類の作成に超忙しいとか。研究もままならず、発表した論文をコピペで書類作り。

理化学研は
実験ノートを巡つて小保方さんは「四、五冊はある」という。それなら「実験ノートは二冊」という理化学研の発表は何か？
論文の画像をミスで取り違い？世界的に画期的な論文であれば、一文一文あてもない、こうでもないとい文章も練つて、論旨にあう画像を慎重に選んだ

でも、もし「論文とはコピペで作る物」であるとすれば、理解しやすい。単純ミスでコピペ元を間違えることはあり得ること。
先生の背を見る学生達はコピペをするのが研究と勘違いしているのではないか？
そんな所に今の日本の大学の問題があるのではないか？
皆さんはどう思われますか？

大岡川の桜

横浜市南区

二〇一四年四月



南区の大岡川沿いは桜の名所。夜にはライトアップもある。今年も大勢の花見客が訪れた。

河岸には焼きそば、焼き鳥、イカ焼き等の店、又、ビールや焼酎の店も。少し上流で河岸が広いところでは、レジャーシートを敷いて宴会の真つ最中だ。

今年桜が早い。四月四日にはさーつと風が吹くと花びらが舞つた。

川面には花筏。親子の乗つたカヌーが花筏をかき分けながらやつて来た。

この辺りは潮が満ちてくると水深も深くなる。三〜四十年前まで、直径一メートルはあるかと思われる材木を船で引いて来ていた。河岸から丸太を引き上げて、製材。向こう岸に見える材木屋も昔は製材所だつたのだろう。